

亀井中学校区 小中一貫教育通信

夢に向かって

今年度より市内すべての中学校区で小中一貫教育がスタートしました。小中一貫教育の推進により、9年間の子どもの成長を見通し、指導体制や方法を工夫し、教職員が長期的な視点で取り組み、家庭、地域との連携を強化して「未来を切り拓くチャレンジする八尾っ子」を育成することを目的としています。

今年度取り組んだ「スタート期」の主な活動をお知らせいたします。

中学校の教員が

小学校で授業

中学校の教員が、小学校へ行き「体育」の授業を行なっています。マットや跳び箱の器械運動のポイントを小学生に分かりやすく指導しています。小学校の教員にとっても技術面だけでなく安全面などの指導法について学ぶ機会にもなっています。



中学校で授業体験

11月29日、6年生が中学校へ行き、中学校の授業を体験しました。中学校教員による「国語」「数学」「英語」「社会」「理科」の授業を受けました。



No. 1

亀井中学校
竹淵小学校
亀井小学校
発行

教職員の研修

①児童・生徒理解

夏季休業中の8月7日に、小中学校の教員の合同の研修会を行いました。講師として、「ラグビーのまち東大阪アドバイザー」の「南條 賢太さん」をお招きし、ラグビーを通しての子どもとのふれあいについて講演していただきました。教員にとって、子ども理解を深められる研修となりました。

②救命救急

小中学校の教員が、水泳学習の始まる前の5月27日、消防署の方に来ていただき、心肺蘇生法の実践合同研修を行いました。AEDの使い方の研修も受け、水泳学習に備えました。



③小・中交流会

11月6日、小学校教員が中学校1年生の「道徳」授業の様子を参観しました。「道徳」は「特別の教科・道徳」として教科化されました。小中学校で、子どもたちの豊かな心を育むための研究を高めることができました。

授業参観後、「人権教育部会」「学力向上部会」「生徒指導・健康教育部会」「事務部会」で各学校での取り組み、成果、課題などを話し合っって交流を深めました。



☆亀井中学校区の教育目標

「豊かな知性と心をそなえ、**夢に向かって**
たくましく生きる子どもの育成」

☆めざす児童・生徒像

「学ぶ意欲にあふれ
主体的に取り組む児童・生徒」



次年度の小中一貫教育は、段階的な取り組みを実施していく「充実期」となります。

学校・家庭・地域がこれまでに以上に連携し、情報を共有して子どもたちのために何ができるのか考えていくことが大切だと思います。

地域に根ざした小中一貫教育の推進に皆様のご理解とご協力をよろしく願っています。